

日本応用地質学会  
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

## 第4回議事録

平成20年7月28日

1. 日 時：平成19年6月26日(木)14:00～17:30
2. 場 所：応用地質学会事務局
3. 出席者：平野、遠藤、岡崎、小熊、岸本、松下（岸本代理）、桑原、小島、品川、綿谷、江口（敬称略）  
計11名
4. 資 料：
  - ・議事次第
  - ・資料4-1 委員名簿（080521修正）
  - ・資料4-2 第三回議事録（案）
  - ・資料4-3 各担当執筆骨子案
    - 資料4-3-1 2.2 岩盤分類の意義と目的（骨子案）
    - 資料4-3-2 2.3 岩盤分類の体系（骨子案）
    - 資料4-3-3 3.2 地質現象（骨子案）
    - 資料4-3-4 3.3 地形要因（骨子案）
    - 資料4-3-5 4章 岩盤と工学的性質（骨子案）
    - 資料4-3-6 5章 岩盤分類のための調査・計測（骨子案）
    - 資料4-3-7 6.2.1 ダムの岩盤分類（骨子案）平野案
    - 資料4-3-8 6.2.1 ダムの岩盤分類（骨子案）綿谷案
    - 資料4-3-9 6.2.1 ダムの岩盤分類（細区分目次案）江口案
    - 資料4-3-10 6.2.2 橋梁の岩盤分類（記載内容骨子案）
    - 資料4-3-11 6.4 掘削のり面の岩盤分類（細区分目次案）
    - 資料4-3-12 7.1 新たな領域における地質の評価と分類 概説（細区分目次案）
    - 7.4 斜面防災（細区分目次案）
  - ・資料4-4 岩盤分類技術書執筆要領案
  - ・資料4-5 岩盤分類技術書執筆要領（具体例）
  - ・資料4-6 ダム基礎掘削岩の高品質骨材の流用を目的とした岩盤分類（話題提供）
5. 議 事：
  - 5-1 前回議事録の確認  
議事録案の通り了承された。
  - 5-2 委員の代理について  
岸本委員より、転勤のため、委員会出席や執筆における代理として松下氏をおくことの提案

があり、全会一致で了承された。

### 5-3 執筆分担の変更について

桑原委員より付録海外の岩盤分類における執筆分担変更の提案があり、議論の結果綿谷委員が執筆担当となった。

### 5-4 各担当執筆案について

各担当より執筆案についての提案があり、以下の議論があった。

#### ① 2.2 岩盤分類の意義と目的（説明は平野委員長）

ロックシリーズについての記載があるが、委員会全体としての意見のすりあわせのためにも一度ロックシリーズについて議論した方がよい。

#### ② 2.3 岩盤分類の体系（説明は桑原委員）

相互比較の(1)各工種ごとの相互比較については各工種担当の記載を受けて要約する。

#### ③ 3.2 地質現象（説明は綿谷委員）

表 3.2.11 の粒度区分に基づく砕屑性堆積岩の分類については、土木と地質で分類に違いがあるのではないか。

各委員は、適切な写真等あった場合は提供する等の協力を行うこととした。

#### ④ 3.3 地形要因（説明は桑原委員）

文章や図で「地形と岩盤分類」としてあるが、地形と比較できるのは岩盤分類でなく「岩盤の工学的性質」ではないか。

#### ⑤ 4章 岩盤と工学的性質（説明は岸本委員）

岩盤の工学的性質の一因として風化の影響についても記載するべきである。

#### ⑥ 5章 岩盤分類のための調査・計測（説明は綿谷委員）

5.1 岩盤分類における調査・計測手法の各論と適用方法について、ボーリングそのものの解説も行う。

5.3 工種別調査・計測の適用と評価については、とりあえず書いてみて、あとで各工種担当と調整する。

#### ⑦ 6.2.1 ダムの岩盤分類（説明は平野委員長、綿谷委員）

委員長資料 6.2.1 ダムの岩盤分類については、6.2.1 の(1)ダムの地質調査から設計施工までの文章として使用する。

地盤工学会基準についてはこの章では説明しない。

第一期で実施した花崗岩における土研式と電研式の比較検討事例については技術書に記載する。

#### ⑧ 6.2.2 橋梁の岩盤分類（説明は遠藤委員）

第一期では主に長大橋における岩盤分類について記載したが、技術書では一般橋梁における岩盤分類についても記載する。

#### ⑨ 6.4 掘削のり面の岩盤分類（説明は江口）

6.4.1.1 掘削のり面の地質調査から設計施工管理までの流れについては、完成後の管理についても記載する。

#### ⑩ その他

今回細目事案の提出のなかった章については、次回までに細目事案を作成することとした。

#### 5-5 執筆要領案

幹事より技術書の執筆要領と執筆例について説明があり、これについて以下の議論があった。

- ・細項目番号とタイトル（例 6.4.1.1 掘削のり面の地質調査から設計施工管理までの流れ）のフォントはゴシックで記載する。
- ・引用文献番号の整理は、目次構成等から、3桁の項目（例 1.1.1）毎に番号を振ることとした。

#### 5-6 話題提供

綿谷委員よりダム基礎掘削岩の高品質骨材の流用を目的とした岩盤分類について話題提供があり、それについて以下の議論があった。

- ・見た目での岩石のランクと骨材として使用する物性との比較ができていない。
- ・内容的に技術書に掲載可能であると考えられる。

#### 5-7 次回の開催について

次回の開催は平成 20 年 8 月 28 日（木）14:00 から学会事務局で行うこととした。

また次回は、平野委員長、伊東委員、江口より話題提供を行うこととした。

以 上